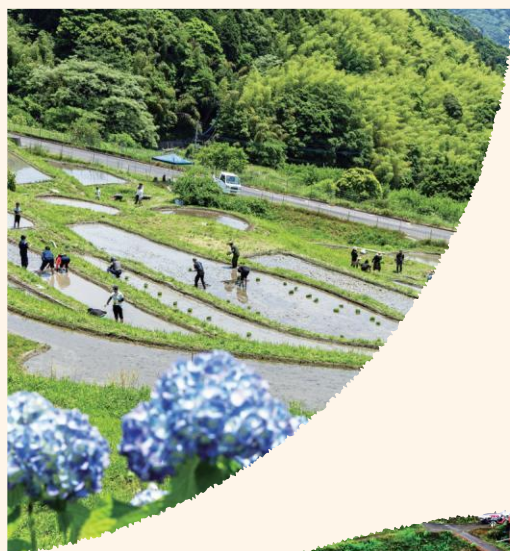


福岡県の 土地改良

福岡県土地改良
事業団体連合会

209

令和8年5月1日



目次

- 1 ご挨拶(田頭喜久己 会長)
- 2 第69回 通常総会
- 3 令和7年度 土地改良功労者表彰
- 4 全国水土里ネット 第68回通常総会
第67回全国土地改良功労者等表彰
- 5 進藤金日子参議院議員 国政報告
- 6 第21回 水土里のふるさと写真コンテスト 入賞作品
- 8 令和7年度 第3回理事会
令和8年度 第1回理事会
- 9 大切なお知らせ(会員情報の変更届)
ふくおか水土里ネット女性の会 会員募集
- 10 福岡県ため池管理保全支援センター～取組状況～
- 11 「福岡県大区画化等推進協議会」を設立
- 12 土地改良農業用施設賠償責任保険のご案内
土地改良施設管理活動中の傷害保険のご案内
- 13 非補助農業基盤整備資金のご案内
土地改良事業に関する助言及び指導
財務管理強化相談等のご案内
- 14 人事(連合会)
令和8年度採用職員の紹介
- 16 人事(県)

【裏表紙】 第48回 全国土地改良大会(奈良大会)
九州ロゴマークのご案内

【発行所】	福岡県土地改良事業団体連合会 福岡市博多区千代4-4-28 TEL 092-642-1881
【編集】	総務課
【表紙】	第21回 「水土里のふるさと写真コンテスト」 受賞作品の一部を掲載しております



ご挨拶

福岡県土地改良事業団体連合会
(水土里ネット福岡)

会長 た がしら 田頭 き く み 喜久己

新たな年度の始まりとともに、春の息吹を感じる季節となりました。会員の皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

本会の運営につきましては、日頃より特段のご高配を賜りますとともに、農業農村整備事業の推進に多大なご尽力、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

現在、イスラエルと米国によるイラン攻撃により中東情勢は混沌の度合いを深め、すでに世界の原油価格が高騰するなど、世界経済に混乱が生じ、国民生活にも影響が及んでおります。この状況が長期化することなく、早期に収束することを切に願うばかりです。

農業・農村の取り巻く状況も、こうした世界情勢の悪化や円安に伴い、燃料や農業生産資材などの価格が高騰するなど、食料の生産や供給をめぐる状況は厳しさを増しており、食料安全保障という観点から、国民の不安も高まっています。あわせて、頻発化・激甚化する豪雨や台風等の自然災害は、農作物だけでなく農地やため池を含む農業水利施設に甚大な被害を及ぼしています。また、農業者の減少、高齢化に伴う地域活力の減退、農業水利施設の老朽化による機能低下に加え、現在の渇水傾向もあり、安定的な農業用水の確保の面からも、健全な農業・農村の保全への影響が懸念されています。

国においては、これらの課題に対応するため、令和6年の「食料・農業・農村基本法」の改正を受け、令和7年度より「農業構造転換集中対策」を実施しております。初動5年間で農業の構造転換を集中的に推し進められるよう「食料・農業・農村基本計画」を改定し、農地の集積・集約化やスマート農業の基盤となる農地の大区画化を加速させる施策を講じることが明記されました。

この農業構造転換集中対策として、生産性向上のため、農業者が自ら実施する畦畔除去等の簡易整備による農地の大区画化などの取組を支援することを目的とした、「大区画化等加速化支援事業」がスタートし、本県でも当会や県農林水産部、関係農業団体、事業を予定している市町村で組織する「福岡県大区画化等推進協議会」を3月23日に設立いたしました。今後は当協議会を通じて事業実施主体への支援や、市町村、土地改良区などへの情報提供を通じて、本事業に取り組む農業者が県内全域に拡大していくよう努めてまいり所存でございます。

令和8年度の国の予算については、4月7日に成立し、農業農村整備事業関係予算は、令和7年度の補正予算と合わせて6,942億円が確保されました。これもひとえに、会員の皆様のご支援とご協力の賜物であり、深く感謝申し上げます。本年度も引き続き、必要な予算の確保に向け国や政府に対し要請活動を実施する所存でございます。

また、本会では、会員の皆様のニーズに応えるため、国の「食料・農業・農村基本計画」や県の「農林水産振興基本計画」を基に関係機関と一体となって、農地の大区画化や中山間地域におけるきめ細やかな整備など農業農村整備事業の計画的・安定的な推進に努力してまいりたいと考えております。

結びに、皆様方のご健勝とご多幸を心からご祈念いたしますとともに、本会に対しまして今まで同様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年5月

第69回 通常総会

令和8年2月25日（水）午前10時30分より、水土里ネット福岡5階大会議室において第69回通常総会を開催しました。会員109名が出席した総会には、来賓として福岡県農林水産部長の徳田輝光氏をはじめ、全国都道府県議会議長会会長 福岡県議会議長の藏内勇夫氏、九州農政局長の緒方和之氏ほか多数のご来賓に出席を賜りました。

総会は黒土理事の開会のことばで始まり、長年にわたり土地改良事業の推進と発展に功績があった個人に対して表彰を行いました。

議案の審議では、議長に選任された宮ノ陣土地改良区の八尋理事長による議事進行のもと、提出した全ての議案が可決承認されました。決議についても満場の拍手で承認され、古野理事の閉会のことばで盛会裏に終了しました。



田頭会長の挨拶



開会のことば(黒土理事)



来賓祝辞(福岡県農林水産部長 徳田 輝光 氏)



来賓祝辞(福岡県議会議長 藏内 勇夫 氏)



来賓祝辞(九州農政局長 緒方 和之 氏)



議事進行



閉会のことば(古野理事)

決議

我が国の農業・農村は、農業者の高齢化や減少により、営農の継続やそれを支える農地や農業水利施設の適切な管理が困難になっていることに加え、荒廃農地の増加や鳥獣被害の深刻化といった困難に直面する中、昨今の世界情勢の悪化や円安に伴う物価高騰も加わり、状況は一層厳しさを増している。

さらには頻発する集中豪雨や台風等の自然災害は、農業だけでなく農地やため池を含む農業水利施設に甚大な被害を及ぼしており、大規模地震発生リスクの高まりなども併せ、国土強靱化に資する防災・減災対策等の推進は喫緊の課題となっている。

国は、改正「食料・農業・農村基本法」に基づく「食料・農業・農村基本計画」において、初動5年間を農業構造転換集中対策期間と位置づけ、農地の大区画化やスマート農業に対応した基盤整備などの講ずべき施策を示し、従来とは別枠で必要な予算を確保するとともに、防災・減災対策として「第1次国土強靱化実施中期計画」を踏まえ、農業・農村の強靱化に向けた取り組みを切れ目なく推進することとされている。

一方、国内の食料安定供給を実現するためには、農業生産の基盤等の整備に加え保全が必要不可欠となっている。

このため、国や県の施策に基づき、農地の大区画化・汎用化等の農業生産基盤の整備を効果的に推進し、担い手への農地の集積・集約を加速化するとともに、地域の防災・減災にも寄与する農業水利施設の管理を担う公益性の高い土地改良区の運営基盤の強化に積極的に取り組まなければならない。さらに、食料の安定供給とあわせて農業・農村の多面的機能を発揮するためには、農地や農業水利施設等の地域資源を良好な状態で次世代に継承していかなければならない。

このような現下の農業・農村を巡る厳しい現状を踏まえ、左記事項について総会の名において決議する。

記

一、農業・農村の振興に関する施策を計画的・安定的に行うため、農業構造転換集中対策期間に係る別枠予算を含めた農業農村整備事業の予算の確保

一、頻発する自然災害からの復旧・復興に係る財源の確保及び防災減災対策に取り組む農村地域に対する支援

一、農業水利施設の適切な保全管理に関する支援及び防災重点農業用ため池の防災工事等に係る予算の確保

一、担い手への農地集積・集約の加速化並びに生産性の向上、生産コストの低減に向け、地域の実情に応じた農業生産基盤整備のさらなる推進

一、土地改良施設の保全管理を担う公益性の高い土地改良区の運営基盤強化に対するさらなる支援

令和八年二月二十五日

福岡県土地改良事業団体連合会 第六十九回通常総会

令和7年度 土地改良功労者表彰

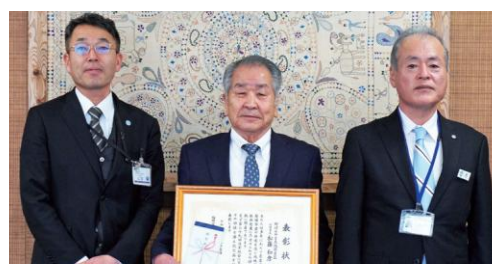
表彰された方々（順不同）

【団体】



大刀洗北部土地改良区

【会員の代表者等】



柳川みやま土地改良区 副理事長
松藤 和彦 氏

【会員の職員】



袋野堰土地改良区 職員
諫山 勝 氏

【連合会の職員】



(左)農村整備2課 農村整備係長 廣瀬 由樹 氏
(右)農村整備1課 農村整備3係長 萩尾 誠 氏

第68回 通常総会

全国水土里ネットは、令和8年3月25日（水）午後1時より全国都市会館において、第68回通常総会を開催しました。閉会後は、シェーンバッハ・サボーへ会場を移して午後3時より、全国水土里ネット表彰式が執り行われました。

福岡県からは、下記団体が受賞されました。

全土連会長賞

団体表彰

柳川北部土地改良区

第67回全国土地改良功労者等表彰



全土連会長賞 団体表彰
柳川北部土地改良区

決 議

現在、国際社会は、地球規模の異常気象、地政学上のリスクの高まり、世界的な物価高騰など、様々な問題に直面している。また、我が国の農業・農村も、農業者の高齢化や減少により、営農の継続やそれを支える農地及び農業用水の保管理が困難になるなど、様々な問題に直面している。

これらの国内外の様々な問題に対応していくため、令和6年に食料・農業・農村基本法が改正され、これに応じて、土地改良関係者の意見が反映された土地改良法が令和7年に施行され、新たな土地改良長期計画も閣議決定された。

土地改良に関しては、これまでもその時々状況に対応して制度見直し等を行いつつ、農地の大区画化や汎用化・畑地化等の整備とその集積・集約化、スマート農業の展開に向けた基盤整備、農業水利施設等の維持・更新、洪水被害防止対策やため池の耐震化等の農村地域の防災・減災対策などを進め、食料安全保障の強化や国土強靱化に貢献してきた。人口減少が進む農村において、国の基である農業を維持、発展させるためには現在の農業者はもとより、後継者らが進んで参画できるよう農業の構造転換が必要であり、令和7年度から国は農業構造転換集中対策を実施している。この対策を推進していくため、水土里ネットの役割は、より一層重要になってくる。

このような状況の中、水土里ネットには、食料の安全保障の確保や農業・農村の多面的機能を発揮させるため、先人達のたゆまぬ努力により維持・活用されてきた農地・農業用水等の地域資源を20年後の将来を見据え、経営の規模拡大やスマート農業の基盤となる大区画化、管理の省力化などを推進し農業の新たな展開を支えられるよう進化した形で次世代に継承していく責務がある。また、地震や豪雨など頻発する災害によって、国民の生命と財産が脅かされている中、農村地域の防災・減災対策等の国土強靱化を継続的に推進していくことが求められている。このため、水土里ネットは、技術、経験など持てる能力を最大限に発揮すべく、男女共同参画の取組をはじめとした多様な人材の参画を推進しつつ、引き続きその体制強化を図り、農業・農村を支える役割の中心的存在となることを改めて決意し、取り組んでいく。

土地改良関係予算については、「闘う土地改良」の下、組織を挙げて様々な活動を行った結果、令和7年度補正予算、令和8年度当初予算を合わせて、昨年度を大幅に上回る6,942億円を確保することができた。水土里ネットは、この予算を活用し、農業・農村の発展に向け、積極的な貢献を果たしていく覚悟である。

全国の水土里ネットは、培ってきた経験と技術を活用し、「闘う土地改良」のスローガンの下、一致団結して、次の事項の実現を図ることを総会の名において決議する。

記

- 一 食料・農業・農村基本計画や土地改良長期計画に基づき初動5年間で農業の構造転換を集中的に実施するとともに、国土強靱化実施中期計画に基づいた取組を一層推し進めるため、農業・農村を支え、守り、我が国の食料安全保障の確保に欠かせない土地改良事業をスピード感を持って推進できるよう、当初及び補正予算とあらゆる機会において、別枠を含めた必要な予算をしっかりと確保すること。その際、地方公共団体の負担軽減のための一層の支援策を講じること。
- 二 土地改良法の改正を受けて、制度の趣旨及び内容の十分な浸透を図ること。また、水土里ビジョンの作成を始めとする農地・農業用水等の地域資源を次世代につなごうとする土地改良区や土地改良事業団体連合会、市町村等の取組への支援や地方財政措置の充実を図ること。
- 三 農業の構造転換を行い、国内の農業生産を増大させ食料自給力を確保するため、地域計画に基づく担い手への農地の集積・集約化、高収益作物の生産拡大、麦・大豆等の本作化、スマート農業の導入やほ場周りの管理の省力化を促し生産性向上に資する大区画化、中山間地域におけるきめ細かな整備等の農地整備と情報通信環境の整備を推進すること。
- 四 大規模災害からの復旧・復興や再度災害防止の取組を早急に進めるとともに、農地復旧についての農家負担の軽減に配慮すること。併せて、農村地域の国土強靱化のため、基幹から末端に至るまでの農業水利施設の更新・長寿命化や、豪雨・地震対策等を推進すること。
- 五 自然的、社会的、経済的な情勢変化を踏まえ、高い公共性・公益性を有し、食料の安全保障の確保に貢献している土地改良施設の維持管理に対する支援を充実させること。
- 六 農村地域を支えている多面的機能支払や中山間地域等直接支払について、活動組織の体制強化や支援範囲の拡大等を図るため、更なる制度の拡充及び必要な予算の確保を行うこと。
- 七 ICT、AI等を活用して、土地改良施設の管理の省力化・高度化等を図る取組を推進するとともに、中小規模の土地改良区を対象とした合併など、食料安全保障を支える土地改良区の運営基盤強化に対する支援を推進すること。
- 八 上記事項の推進に当たり、発注体制や施工業者の受注環境の整備等の事業の執行体制の充実を図るとともに、水土里ネットが有する技術、経験などを十分発揮できるよう配慮すること。



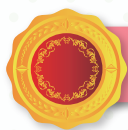
進藤金日子参議院議員 国政報告

日時：令和8年1月16日(金)午前11時30分～

場所：水土里ネット福岡 5階大会議室

進藤金日子参議院議員が来福し、国政報告をされました。新たな土地改良長期計画の概要、農業農村整備事業予算の確保、米を取り巻く状況など、これまでの実績や今後の展望についてご説明いただきました。





最優秀賞(福岡県知事賞)



「稲穂も垂れる虹の橋」 安岡 義之 氏(撮影:朝倉市)



優秀賞(福岡県土地改良事業団体連合会長賞)



「稲わらロール」

新原 淳一 氏(撮影:糸島市二丈吉井)



「ぶどうの袋掛け」

中島 正 氏(撮影:うきは市浮羽町)

第21回 水土里のふるさと写真コンテストは令和8年1月16日(金)に審査会を行い、170点の応募作品の中から入賞作品18点を選出しました。

また、令和8年度も第22回写真コンテストの応募作品を募集していますので、皆様のご応募をお待ちしています。



入選(福岡県土地改良事業団体連合会長賞)



「神幸祭」 大六野 修吉氏
(撮影:北九州市小倉南区曾根新田)



「農業体験」 高群 純一氏
(撮影:福岡市西区今宿)



「里山の小さな棚田」 古川 佐代美氏
(撮影:京都府刈田町山口等覚寺)



「興味最高潮」 舎川 孝吉氏
(撮影:うきは市浮羽町 つづら棚田)



「おてつだい」 箕田 義己氏
(撮影:篠栗町和田)



佳作(西日本新聞社・西日本写真協会賞)



「美味くな〜れ」 井上 修氏
(撮影:みやこ町柳瀬)



「麦秋のころ」 福原 良一氏
(撮影:筑紫野市阿志岐付近)



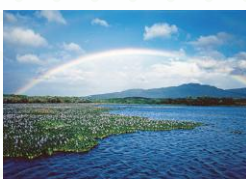
「農繁期の春」 北山 一則氏
(撮影:太宰府市水城 水城堤前)



「青田の海」 古川 正則氏
(撮影:朝倉市山田)



「田植え体験」 高鷹 春一氏
(撮影:福岡市西区かねたけの里公園)



「神様の通り路」 吉本 克二氏
(撮影:糸島市)



「稲刈り日和」 多賀谷 和子氏
(撮影:筑紫野市阿志岐)



「進化した農作業」 松本 佐登美氏
(撮影:久留米市北野町鳥巢(コスモス街道))



「田んぼのマシュマロ」 中野 政重氏
(撮影:久留米市三瀬町田川)



「鳥脅し」 高橋 重隆氏
(撮影:久留米市田主丸町竹野)



令和7年度 第3回理事会

日時：令和8年1月16日(金) 午前10時30分～

場所：水土里ネット福岡 4階役員会議室

本会は、福岡県農林水産部農村森林整備課の松本課長、農山漁村振興課の外園課長同席のもと、令和7年度第3回理事会を開催しました。提出された議案は慎重に審議され、いずれも原案どおり可決承認されました。

- [議事] 第1号議案 令和7年度 上半期監査報告について
第2号議案 福岡県土地改良事業団体連合会職員給与規程の一部改正について
第3号議案 第69回通常総会について



令和8年度 第1回理事会

日時：令和8年4月13日(月) 午後4時00分～

場所：水土里ネット福岡 4階役員会議室

本会は、福岡県農林水産部農村森林整備課の外園課長、農山漁村振興課の久富課長同席のもと、令和8年度第1回理事会を開催しました。提出された議案は慎重に審議され、いずれも原案どおり可決承認されました。

- [議事] 第1号議案 福岡県土地改良事業団体連合会職員給与規程の一部改正について
第2号議案 福岡県土地改良事業団体連合会職員給与支給細則の一部改正について





大切なお知らせ(会員情報の変更届) ～本会会員の皆様へ～



- ①住所
- ②会員名および代表者名
- ③電話番号

等

上記内容に変更がありましたら「変更届」の提出をお願いいたします。
様式は当会ホームページ内の「会員(市町村、土地改良区等異動)届け出様式集」よりダウンロード可能です。
印刷して押印の上、総務課宛へ郵送してください。

お問い合わせ 総務部 総務課(本部) TEL 092-642-1881



ふくおか水土里ネット女性の会 会員募集



現在、全国的な取り組みとして土地改良団体における男女共同参画が推進されています。

福岡県においても、土地改良区の女性職員が相互にネットワークを広げ、情報共有や連携の強化を図ると共に、研修会等への参加により知識やスキルの向上を図り、農業農村整備事業への参画や、県内の農業農村整備事業の推進に寄与することができるよう、土地改良区の運営に携わる女性の活躍を支援していくこととし、活動の活性化・組織化を図るため、令和5年4月に「ふくおか水土里ネット女性の会」を設立いたしました。

ふくおか水土里ネット女性の会では、新規会員を広く募集しております。ご興味のある方はぜひお問い合わせください。

活動状況

【活動内容】

- ・ 通常総会(年1回)
 - ・ 研修会(年1回)
- その他九州、全国での研修会等

【会員】R8.4.1現在

26名(12土地改良区(連合含む))
会員は農業農村整備事業に関連する業務に従事する者としています。



通常総会



研修会

【令和7年度活動の様子】

**入会等に関する
お問い合わせ**

総務部 総務課(本部) TEL 092-642-1881

※入会申込書等は当会ホームページに掲載しております。



福岡県ため池管理保全支援センター～取組状況～

福岡県ため池管理保全支援センターは、民間の農業用ため池管理者に対し、日常管理における助言・現場技術指導、現地パトロール(管理状況調査)、普及啓発などを行い、ため池管理の質を高め、適切管理の促進と整備の加速化を図ることを目的とし、令和2年4月に開設されました。

ため池管理保全支援センターの活動

ため池管理保全支援センターでは、以下の項目を主に活動を行っております。

【助言・現場技術指導】管理者から相談を受け、専門技術者が助言や技術的指導を行う。

【現地パトロール(管理状況調査)】民間管理の農業用ため池を対象に管理状況の調査を行い、堤体や取水・排水施設等に変状がないか確認する。

【普及啓発活動】様々な状況を想定し適切な管理方法の講義・研修会を行う。



助言・現場技術指導



現地パトロール(管理状況調査)



普及啓発活動

「福岡県農業用ため池の管理及び保全に関する運用」が一部改正されました

ため池管理者様へお知らせ

本運用は「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」、「農業用ため池の管理及び保全に関する法律施行令」、及び「農業用ため池の管理及び保全に関する法律施行規則」に基づき、円滑な運用を図ってまいりましたが、このたび令和7年12月17日付けで「福岡県農業用ため池の管理及び保全に関する運用」の一部改正が行われましたのでお知らせします。

これまで、ため池の堤体の底地を国又は地方公共団体が所有する場合は、届け出対象外としていましたが、今回運用の改正に伴い、ため池の堤体の底地や池敷きに国又は地方公共団体が所有する土地と民間が所有する土地が混在する場合、又は、国又は地方公共団体と民間が共同で所有する土地が含まれる場合、届出対象となります。

※運用の詳細につきましては、ため池管理保全支援センターのホームページ内の『運用』の項目をご参照ください。

ため池管理保全支援センターのホームページのご案内

当ため池センターでは、ホームページを公開しております。

前述の活動内容に加え、これまで行われた「ため池設計工事研修会(行政向け)」の動画視聴や、「県内ため池マップ」「ため池マニュアル」「ため池見回りチェックシート(簡易版)」等の入手が可能です。また、「各種ため池に関する書類の様式」も提示しておりますので、是非ご活用ください。

今後も、ため池に関する様々な情報を公開していきますので、是非ご覧ください。





「福岡県大区画化等推進協議会」を設立



大区画化等加速化支援事業では

農業者が減少する中、生産性の向上、生産コストの低減に向け、法人等の農業者が自ら行う畦畔除去等の簡易整備による農地の大区画化等の取組等を支援します。

事業実施の主体

市町村・農業者団体(土地改良区等)・農業者 等

実施要件

- ・農振農用地区域(青地)のうち地域計画を策定した区域であること
- ・農地の区画拡大が行われること 等

事業メニュー

農用地の区画拡大と併せて以下のメニューの活用も可能

暗渠排水／湧水処理／末端畑地かんがい施設／客土／除礫
用排水路等の更新整備／畑作転換工／病虫害対策

事業の内容

農地の区画拡大や省力化整備に係る基盤整備
畦畔除去による区画拡大や暗渠排水等の簡易な基盤整備を
定額で支援します。

定 額 上 限

区 画 拡 大

委託単価: **7万円/10a**
農業者: **6万円/10a**
施工単価

畦 畔 除 去

委託単価: **4万円/100m**
農業者: **4万円/100m**
施工単価

暗 渠 排 水

委託単価: **18万円/10a**
農業者: **13.5万円/10a**
施工単価

※集約化・大区画化においては、助成単価に加算あり

福岡県大区画化等推進協議会 設立総会

本協議会は、県内における大区画化等加速化支援事業の推進により、県内の農用地の大区画化等を促進し、もって県内における農業の生産性向上を図ることを目的として令和8年3月23日に設立されました。

(事務局) 福岡県土地改良事業団体連合会
事業部農村整備一課 TEL.092-642-1890



「大区画化等加速化支援事業の概要」
は、下記二次元コード
からご確認ください





土地改良農業用施設賠償責任保険のご案内

～いざ、という時のお守りとして保険に加入できます～

◆この保険の主旨

この保険は、農業用排水路、道路、溜池、頭首工の所有者である市町村、土地改良区等が、所有、使用または管理する施設・設備に起因して生じた偶然な事故、または、業務の遂行によって生じた偶然な事故により、第三者に身体障害や財物損壊を与えた場合に、法律上の賠償責任を負担することによって被る損害を保険金としてお支払いします。

- 保険期間／1年間
- 契約者／福岡県土地改良事業団体連合会
- 加入対象者(被保険者)／福岡県土地改良事業団体連合会の会員の皆様

※加入申込書にご記名・ご捺印のうえ、用排水路、道路、溜池、頭首工の明細書及び位置図(保険加入対象部分を朱書)を添えてお申し込みください。
また保険料につきましては、お申し込み時にお支払いください。

◆保険料及び保険金額のご説明

(令和8年4月現在)

保 険 期 間 1 年				
保険の目的	用排水路	道 路	溜 池	頭 首 工
プランA 年間保険料	1kmあたり 1,650円	1kmあたり 1,100円	周囲1kmあたり 3,550円	1箇所あたり 2,200円
プランB 年間保険料	1kmあたり 1,850円	1kmあたり 1,500円	周囲1kmあたり 3,750円	1箇所あたり 2,400円

補償内容	保険金額(お支払い限度額)	免責金額(自己負担額)
身体賠償(人身事故の場合)	プランA・B共通 1名……………1億円 1事故……………3億円	無し
財物賠償(物損事故の場合)	プランA：1事故…1,000万円 プランB：1事故…5,000万円	無し

※保険の目的ごとに算出した保険料の10円未満は四捨五入します。

※会員様ごとの最低保険料(保険の目的ごとに算出した保険料の合計額)は10,000円となります。

※過去5年以内に保険請求された会員は別途保険料を提示いたします。

お問い合わせ 総務部 総務課(本部) TEL 092-642-1881



土地改良施設管理活動中の傷害保険のご案内

◆補償される事故

土地改良区等の施設管理活動作業に従事する人が、職務に従事している間(職務遂行場所への通勤途上を含みます。)に偶然な事故によりケガをされた場合、保険金の請求ができます。

保険料(令和8年4月現在の一例)

[被保険者明細を省略・20名未満の場合]

プラン	死亡・後遺障害	入院日額	通院日額	保険期間	1人あたりの保険料
A-6	300万円	3,000円	1,000円	6ヶ月	5,150円
A-12	300万円	3,000円	1,000円	12ヶ月	10,300円
B-6	500万円	4,000円	2,000円	6ヶ月	8,750円
B-12	500万円	4,000円	2,000円	12ヶ月	17,500円

掲載している保険料例は一例です。保険料の改定等により変更となる場合があります。

お問い合わせ 総務部 総務課(本部) TEL 092-642-1881



非補助農業基盤整備資金のご案内

土地改良区等が国からの補助を受けずに、かんがい排水やほ場整備、客土などの事業に取組み、農業生産基盤の整備・保全の推進を図る場合、(株)日本政策金融公庫等が、農家負担の軽減を目的に、土地改良区等に対して低利で融資する資金です。

なお、国の補助対象でない県または市町村単独による補助事業についても融資の対象となります。

- 貸付限度額 複数年にわたる事業の場合、各年度とも土地改良区が当該年度に負担する額までとなっています。(ただし、融資は1件当たりの最低額は50万円となっています。)

なお、農業集落排水事業では、一部施設ごとに限度額を設定しています。

- 貸付金利 (固定金利) 非補助一般 融資期間にかかわらず 2.60% (4月20日現在)

- 償還期限 最長25年間(据置期間10年以内を含む)になっており、事業内容に応じて設定できます。

ご相談・
お問い合わせ

- 県農林事務所(農村整備第一課)

- 市町村役場

- 農業協同組合

- 福岡県信用農業協同組合連合会(融資部) TEL 092-711-3561

- (株)日本政策金融公庫 福岡支店(融資第二課) TEL 092-451-1780

- 福岡県土地改良事業団体連合会(情報管理課) TEL 092-642-1893



土地改良事業に関する助言及び指導

本会では、土地改良区等に対して以下のような事案についての助言・指導を行っています。

1. 土地改良事業に関する苦情、紛争への対応
2. 土地改良事業計画の作成、工事実施に関する指導
3. 事業主体の組織運営上の指導
4. 土地改良施設の管理に関する指導
5. 農業水利に関する指導
6. 土地改良法令に関する指導
7. 換地処分その他農用地集団化に関する指導
8. その他

定期相談日

毎月1回(第3水曜日)開設しています。(祝日の場合はその翌日)

緊急の場合は、開設日以外でも随時行っています。

窓口

- 総務課(本部) TEL 092-642-1881

- 情報管理課(本部) TEL 092-642-1893

- 農村整備1課(本部) TEL 092-642-1890

- 農村整備2課(北部事務所) TEL 0930-22-3655

- 農村整備3課(南部事務所) TEL 0942-53-2294



財務管理強化相談等のご案内

本会では、土地改良区等に対して以下のような事案についての相談窓口を設置しています。

1. 複式簿記会計
2. 指導監査の導入
3. 非補助土地改良事業の推進活動
4. その他

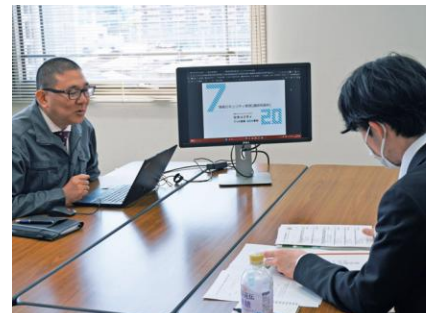
ご相談・
お問い合わせ

総務部 総務課 経理係(本部) TEL 092-642-1884

福岡県土地改良事業団体連合会

事務局	部	部長・次長	課(事務所)	課長(所長)	課長補佐	係
事務局長 木戸 剛 (57)	総務部 (20)	部長 長部 孝洋 次長 佐竹 省悟 (事業推進)	総務課 (本部) (11)	森山 賢史	藤本 貴之	総務企画係
						経理係
						会員支援係
			情報管理課 (本部) (7)	川口 和典	上田 圭	情報管理係 (水土里情報センター)
	事業部 (36)	部長 鶴田 政伸	農村整備1課 (本部) (13)	三谷 竜一	伊藤 充裕 江頭 淳	農村整備1係
						農村整備2係
						農村整備3係 (ため池管理保全 支援センター)
			農村整備2課 (北部事務所) (7)	今永 和弘	池上 明行 松原 理人	農村整備係
			農村整備3課 (南部事務所) (2)	八田 光生		農村整備係
			換地測量課 (本部) (13)	大瀨 真喜 推進機構(出向) 吉武 正宏	古賀 敬士 磯田 正臣 今村 浩章	換地1係
						換地2係
						調査測量係

新規採用職員研修の様子



令和8年度 職員配置表

(令和8年4月1日現在)

係 長	主 査	主 任	技師・主事	技師補・主事補	嘱 託
兼務 藤本 貴之	吉村 恵				(参与) 近藤 壽
兼務 森山 賢史		古賀香奈美			(企画指導専門員) 廣田 由美
星野須美香		宮崎 正勝	梶原 茜		大草 光子 臼杵 順子
氏家 俊一	神田 憲章	三牧 真也	後藤 建貴	谷川 陽仁	
高橋 由夏			横澤彦之祐	野中 明	(技術指導専門員) 田村 勝俊
萩尾 誠			西本 善喬 江島菜々子		(技術指導専門員) 門畑 浩次
兼務 伊藤 充裕				落合 貫太 (試用職)	(技術指導専門員) 藤井 憲一
廣瀬 由樹	岩本 龍二			永濱 大喜 末宗 滉彬	
					(技術指導専門員) 與田 博徳
肥後 瑠依			今永 恭介 佐野 尚代		
兼務 磯田 正臣	楠本 仁志		島 佑成		
兼務 今村 浩章	甲斐田 圭	本田 崇	荒木隆之介		



令和8年4月1日付 採用職員紹介



事業部農村整備1課
落合 貫太

このたび、農村整備1課に配属となりました落合貫太と申します。分からないことも多く不安もありますが、一日でも早く業務に慣れ、皆様のお役に立てよう精一杯努力してまいります。

私の趣味は、サッカーで体を動かすことと、新たな出会いや発見を求めて古着屋を巡ることです。仕事とプライベートのメリハリを大切にしながら、社会人としてしっかり成長していきたいと考えております。至らない点も多く、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

令和8年度 福岡県農林水産部関係課

部長 徳田 輝光

次長 金作 志歩
次長 山口 聡

農 林 水 産 部			
	課 長 等	補 佐 等	係 長 等
農林水産政策課	副理事兼課長 諸富 博 副課長 黒岩 京子 企画監 田中 豪	課長補佐 橋永 浩一	兼総務係長 岡田 美紀
		企画広報主幹 藤井 清吾	予算・重点第一係長 (本課長補佐)
		企画主幹 村本 耕平	兼予算・重点第二係長 米津 研二
			兼予算・重点第三係長 西川隆一郎
			兼企画広報係長 三原 聡明
			研究調整係長 古野 輝
農山漁村振興課	課長 久富 輝良 企画監 上村 茂一 検査監 中山 雅夫 検査監 渡邊 丈二	課長補佐 永田富美代	中山間地域振興係長 田中 有理
		課長技術補佐 市原 祐輔	技術管理係長 重信 浩
		検査員甲 水田 隆英	入札係長 (本検査員甲)
			計画調整係長 濱田 智子
			兼森林計画係長 脇坂 美紀
			兼森林保全係長 嶋本 正輝
農村森林整備課	課長 外園 浩人 副課長 栴島 律子 企画監 藤原 浩二	課長技術補佐 岡部 聡	兼農村総務係長 松岡 由樹
			兼管理係長 岡 行栄
			基盤整備係長 堤 崇
			農村整備係長 福元 龍二
			農地保全係長 小牧 慶一
			治山係長 大津 誠史
			兼林道係長 後藤 秀昭
水産振興課	参事 崎村 禎彦		漁港整備係長 上村 和義
水田農業振興課	参事 宇津 正司		農村集落係長 峯 剛志
食の安全・地産地消課	課長 西川紀和視		生産安全係長 田中 賢太

他部・派遣等	
県土整備部 水資源対策課	計画係長 大原 広宣
監査委員事務局 監査第二課	監査主査 松吉 邦宏
福岡県農業振興推進機構(出向)	農地利用調整戦略室長 下島 洋一
朝倉市朝倉支所(出向)	農林課参事 野田 直樹
朝倉市杷木支所(出向)	改良復旧係長 木村 徹

役付職員配置表

(令和8年4月1日現在)

	所長・副所長	課長・出張所長		係 長 等						
福岡農林	所長 吉永 正樹 副所長 法村奈保子	総務	上川みゆき	庶務	佐藤麻衣子	会計	松本 亨			
		農山村振興	石田 正博	地域振興(参補)	箱田美由紀	農地	尾崎有希子			
		農業振興	今園 貴昭	農産・金融(補佐)	吉田 博孝	園芸・食の安全(参補)	波多江裕子	畜産(参補)	田中 雅也	
		農村整備第一	河内 良文	管理	永江 洋子	参事補佐	泉 篤史	計画(参補)	北野 晶子	
		農村整備第二	吉田 浩二	整備第一	本田 恵子	整備第二	山崎 仁士	整備第三(参補)	山本 寛	
		林業振興	田中 晃志	林業振興(補佐)	岡本 誠次	普及	高木 勝浩			
		森林土木	神崎 功	治山第一(参補)	渡邊 康司	治山第二	魚崎 健二	林道	佐藤 修一	
朝倉農林	所長 真井 浩一 副所長 吉田 昌浩	総務	中尾 康子	庶務(補佐)	大坪 美由	会計	横田 望			
		農山村振興	大森 宏志	地域振興(参補)	坂井 孝司	農地	古賀 愛邦			
		農業振興	濱崎 康彦	農産・金融	渡邊 生子	園芸・食の安全	大野 恵子	畜産(参補)	月野 友和	
		農村整備第一	野口 善彦	管理	福本香奈恵	参事補佐	中山 隆	計画	田中奈都子	災害事業 阿部 俊行
		農村整備第二	江頭 仁	整備第一	清水 康弘	整備第二	円城寺康博	用地	水落 実鶴	
		農村整備第三	原 康	副長(参補)	寺田 真喜					
		林業振興	安藤 祐治	林業振興(補佐)	川上 恭一	普及	谷崎 ゆふ			
		森林土木	岩田 守	治山	重見 正道	林道(参補)	岩本 克也			
		合所ダム	空閑 秀行							
八幡農林	所長 松本 隆浩 副所長 中島 直美	総務	池本 桂子	庶務	伊達 瑞枝	会計	松藤 恭子			
		農山村・農業振興	東 尚子	地域振興・農地(補佐)	宮崎 秀幸	農産・金融(参補)	大畑 裕子	園芸畜産・食の安全(参補)	富田 耕平	
		農村整備	瀬口 優子	管理・計画	木下 孝子	整備(参補)	井上 孝行			
		林業振興	後藤 正光	林業振興(補佐)	鷹野 宜則	普及	小林 和代			
		森林土木	福田 哲也	副長	山田 准士					
飯塚農林	所長 和田 直樹 副所長 重松 孝子 地域調整監 堀下 久	総務	竹市 りか	庶務	岸本 晶子	会計	鹿田 真子			
		農山村振興	三浦 誠司	地域振興	立石 信峰	農地	辻 久美子			
		農業振興	木村 伸二	参事補佐	平田 祐子	農産・金融	柳田 慶子	園芸・食の安全	齋藤 紀子	畜産(参補) 平川 達也
		農村整備第一	永吉 剛志	管理	平山 愛知	参事補佐	鶴 高雄	計画	東 克治	
		農村整備第二	野田 賢吾	整備第一(参補)	吉次 陽子	整備第二(参補)	池之上 武			
		林業振興	坂本 住夫	林業振興(補佐)	檜崎 康二	普及	井手 英登			
		森林土木	村上 浩	治山(参補)	井上甲子郎	林道	松村 敏博			
筑後農林	所長 林 浩二 副所長 東 幸太郎	総務	松本 和裕	庶務	永田 保子	会計	田中 美穂			
		農山村振興	東 勇司	地域振興	上田 良介	農地	仙頭 和子			
		農業振興	津留 嘉成	農産・金融	市来 洋介	園芸特産・食の安全	松下 幸平	畜産	福海 千佳	
		農村整備第一	上妻 英夫	管理(補佐)	宮崎 善彦	参事補佐	富田 輝彦	計画	西 耕一郎	
		農村整備第二	小森 繁	整備第一	手嶋 隆	整備第二(参補)	沖本 知俊	整備第三(参補)	永野 洋	
		農村整備第三	溝上 直紀	整備第一	谷口 克也	整備第二	大隈 泰之			
		林業振興	濱地 秀展	林業振興(参補)	占部 達也	普及	湯川 宏規			
		森林土木	田代 敦雄	治山	岩下 秀治	林道(参補)	松原 孝明			
行橋農林	所長 能美 晋 副所長 高木 悟 地域調整監 高倉 修二	総務	宮崎 隆博	庶務	有吉 希	会計	阿部のぞみ			
		農山村振興	田中 紀子	地域振興(参補)	成山 秀樹	農地	矢鳴 恭平			
		農業振興	小野 晴美	参事補佐	内川美由紀	農産・金融	平田 朋也	園芸畜産・食の安全(参補)	片山 清美	
		農村整備第一	渡辺 敬	管理	永野 竜二	計画(参補)	木下 浩基			
		農村整備第二	西村 和哲	整備第一	磯部 裕二	整備第二	橋本 孝樹			
		林業振興	後藤 篤	林業振興(補佐)	金澤 元仁	普及(参補)	田中 卓			
		森林土木	坂本 信康	治山(参補)	斉藤健次郎	林道(参補)	甲斐 竜一			
農地開発センター 筑後川水系	センター長 三笥 修三 農地防災調整監 新開 栄治	庶務	今村 珠美	副長	野田 良子					
		工務	田中 浩一	計画	持尾理恵子					
				工事(参補)	土井 博文					



2026年11月17日(火)
奈良県コンベンションセンター



主催：全国土地改良事業団体連合会 / 奈良県土地改良事業団体連合会
後援：農林水産省 / 奈良県 / 奈良市 / 奈良県農業協同組合



第48回

全国土地
改良大会

『きれいな水』『豊かな土地』『美しいふる里』水土里が育てるまほろばの奈良

NARA
大会



福岡県土地改良事業団体連合会

新しい農業・農村の環境づくりを支援し、都市と農村の共生を目指します。

水土里ネット福岡
ホームページへのアクセス
携帯はこちらから



〈九州ロゴマーク〉
九州・山口各県と経済界で定めた「九州」のマークです



本部 〒812-0044 福岡市博多区千代4丁目4番28号
TEL 092-642-1881 FAX 092-642-1886
<http://mnf21.com>

農村整備2課 (北部事務所) 〒824-0005 行橋市中央1丁目8番7号
TEL 0930-22-3655 FAX 0930-22-3282
E-mail: hokubu@mnf21.com

農村整備3課 (南部事務所) 〒833-0041 筑後市大字和泉 640番1
TEL 0942-53-2294 FAX 0942-53-2742
E-mail: nambu@mnf21.com